

# 公安委員会定例会議(第7回)の開催状況

第1 日 時 令和2年3月4日(水)

午後2時00分 ～ 午後4時00分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

## 1 委員長説示

卒業式や入社式の自粛や縮小、ホテルでの宿泊客の減少、イベント・宴会の中止など、新型コロナウイルス感染症の広がりが県内にも様々な影響を与えている。

また、インターネット上のデマにより、マスク以外の紙製品にまで、不足が生じている。

1970年のアメリカで、自動車の排気ガス中の一酸化炭素などの排出量を厳しく規制した「マスキー法」が施行されたことで、日本の自動車はアメリカに輸入できなくなったが、ホンダは、これまでの技術を徹底して見直し、新しい燃焼システムを追求した結果、この基準をクリアした新型エンジンを開発した。

突然の困難に遭遇したとき、氾濫する情報の嘘を見抜いて正確な判断をすることは難しいが、デマにだまされることなく現状を正しく認識し、とことん対策を考えることが大切である。県警の適切な対応を期待している。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録について

総務室から、令和2年第6回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 少年指導委員の委嘱について

生活安全部から、令和2年度の少年指導委員の委嘱について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

(1) 情報公開・個人情報開示の請求状況について

総務室長から、令和元年の情報公開・個人情報開示の請求状況について報告があった。

(2) 警察と消防との女性職員交流会の開催結果について

警務部長から、警察と消防との女性職員交流会の開催結果について報告があった。

◇ 委員から、

職員同士の交流により有事の際の連携が深まることが期待できる。との発言があった。

(3) 人事案件について

警務部長から、人事案件について報告があった。

(4) 損害賠償事案の知事専決処分について

首席監察官から、損害賠償事案の知事専決処分について報告があった。

(5) 視聴覚教材の作成と活用について

警察学校長から、業務の高度化・合理化を目的とした視聴覚教材の作成と活用について報告があった。

(6) 令和2年「春の全国交通安全運動」の取組案について

交通部長から、令和2年「春の全国交通安全運動」の取組案について報告があった。

◇ 委員から、

引続き、あおり運転などの危険運転の取締や高齢運転者等の安全対策を進めてほしい。

との発言があった。

(7) 「第1回愛媛県警察新型コロナウイルス対策警備本部」会議の開催について

警備部長から、「第1回愛媛県警察新型コロナウイルス対策警備本部」会議の開催状況について報告があった。

(8) 助成金詐欺事件の検挙について

生活安全部から、助成金詐欺事件の検挙について報告があった。

(9) 立てこもり事案を想定した訓練の実施について

刑事部から、立てこもり事案を想定した訓練の実施について報告があった。

#### 4 その他

- (1) 委員から、「県警の業務の高度化・効率化を推進するための工夫や努力を評価する。これらの取組については、P D C A（計画・実行・評価・改善）のサイクルを繰り返し、現場の職員の仕事がやりやすく効率的になるように進めてほしい。」との発言があった。
- (2) 本部長から、「業務の高度化・効率化については、本当に必要なもの、簡素化できるものを見極め、他県の施策なども活用しながら、継続的に進めて行く。」との発言があった。

以上